

歴代作品 & 関連グッズで迫る「一年戦争」の世界

購入特典

電子版無料サービス

Goods Press

July.2016 TOKUMA SHOTEN 定価690円
グッズプレス

スペシャルインタビュー

安彦良和
福井晴敏

機動戦士ガンダム “一年戦争”の深層

- 一年戦争を描いたガンダム全映像作品
- THE ORIGINキットでたどるMS開発系譜
- ガンブラで比べてみた一年戦争“全ガンダム”の違い
- 一年戦争の少年が憧れた部隊章と階級章
- ルウム戦役で投入された通称“ワルキューレ”の脅威
- 小説家・皆川ゆかが解説する“その時、一年戦争は動いた”
- “ラプラスの箱”をめぐるガンダムUCのMS戦記
- ガンブラ、ロボット魂…話題の新商品徹底解剖

第2特集

人気再燃の今、改めて知っておきたい
レコードのお作法

第3特集

絶対に負けたくない戦いがやってくる！
今年こそは万全梅雨対策

人気再燃の今、改めて知っておきたい

レコードの作法

1980年代中盤、音楽ソフトの主役はレコードからCDへと移り変わっていった。その後、MDが登場するも衰退し、2000年代になるとダウンロードが主流になっていく。そして今、アナログレコードが再び人気を博している。レコード盤は続々とプレスされ、プレーヤーも新製品がリリースされている。この特集では、そんなレコードとプレーヤーのキホンを解説。当時、父親のプレーヤーを通じてその音に触れたことのある人も、そうでない人も、このブームに乗じてレコードの奥深き世界に足を踏み入れてみてはいかがだろうか？



取材・文
ホシデトモタカ [P74-P75、P78-P87]
小原由夫 [P76-P77、P88-P89 (監修)]

写真
星 武志 (estrellas) [P73-P77]
堀内 偉太郎 [P82-P83]
江藤 義典 [P84-P85]
下城 英悟 [P88-P89]



NAGAOKA MP-500

8万1000円
@ナガオカレーディング
TEL.03-3479-8181

汎用交換針で有名なナガオカの最高級オリジナルモデル。MP方式と称しているが、分類上はMM型だ。振動伝達速度の速いボロンカンチレバーを採用しているのが特徴。針交換が可能だ

10 ヘッドシェル

カートリッジを強固に固定し、その振動/発電作用を確実に行うための支えとなる。カートリッジの出力端子とトーンアームの入力接点部までの信号の橋渡し役も担う。カートリッジに応じて固定位置を調整可能

11 カートリッジ

針先が音溝から拾い上げた振動を電気信号に変換する部分で、電磁力の原理に基づく。主にふたつの方式があり、磁石が動いて発電するものをMMカートリッジ、コイルが動き発電するものをMCカートリッジという

09 回転数切り替えスイッチ



ターンテーブルの規定回転数を切り替えるスイッチ。「33」は正しくは33・1/3回転で主にLP用。「45」はEPまたは12インチシングル用。ベルトドライブ方式では、モーター軸のベルトにかけける位置で回転数を変更する機種もある

08 スタート/ストップ・スイッチ



ターンテーブルの起動/停止を行うスイッチ。ベルトドライブ方式を採用したPD-171Aは、規定回転数に達するまである程度の時間を要するが、機種によってその時間はマチマチである

07 トーンアーム



カートリッジをしっかりと保持し、正確に音溝に接触させながら、内部の配線によってカートリッジが拾い上げた信号を忠実に伝送する役割を担う。それ自体が振動しないよう、素材や形状が吟味されている

03 EPアダプター



45回転シングル盤(通称EP盤、俗称ドーナツ盤)を再生する際に、約38mmのシングル盤の穴径とセンタースピンドルを合致させるための補助具として使われる。プラスチックや金属製のものが多く

02 センタースピンドル



レコード再生時の中心を維持するとともに、ここがターンテーブルの回転軸として機能し、正確かつ滑らかな規定回転を保持するための要となる機構部。支点として摩擦しにくい材料が使われ、オイルが充填される

01 ターンテーブルシート



レコードとターンテーブルを密着させ、安定したレコード再生を実現させるためのシート。ゴム系材料のタイプは振動の吸収性が高く、外部からの不要振動を抑制する効果も。経年変化が少ない耐久性も求められる

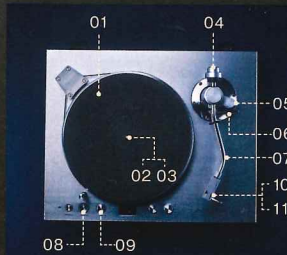
駆動方式：ベルトドライブ方式
素材：アルミ材削り出し[表面仕上げ/ダイヤモンドカット]
回転数：33 1/3rpm、45rpm切り替え式[回転数調整/±5%]

PD-171A

トーンアーム形式：スタティックバランス、S字型
実効長：229mm
適合カートリッジ自重：4~12g(ヘッドシェル込み17~25g)
高さ調整範囲：38~60mm
アンチスケーティング：0~3g



サイズ：W492×H195×D407mm(ダストカバー使用時)
重量：25.4kg



16 ダストカバー



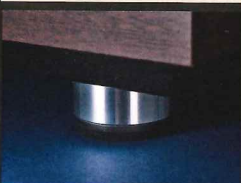
ハウリングを防ぐとともに、普段からターンテーブルにホコリやチリが載らないように保護するカバー。再生中もカバーをしておくと、レコードにもホコリがかからず安心だ。カバーは取り外すこともできる

15 カートリッジ出力端子



カートリッジが拾い上げた電気信号を、トーンアームを通じて外部のアンプに伝送、接続するためのケーブル。アナログレコードの信号は微弱なため、ノイズに強く振動などの影響を受けにくい材料・構造を採用

14 インシュレーター



レコード再生に振動は禁物。振動によって「ハウリング」という不要ノイズが生じるからだ。インシュレーターは外部振動の抑制とともに、プレーヤー自体も共振しないように動く。水平維持用の高さ調節機構も内蔵

13 ゴムベルト



モーターが生む駆動力をターンテーブルに伝えるための部材。PD-171Aでは平型ベルトが使用されているが、丸ベルトを採用するモデルもある。耐久性が高く伸びにくく、摩擦係数が吟味された素材が使われる

12 ターンテーブル



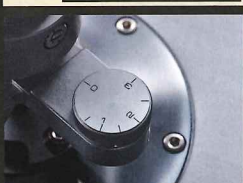
レコードを安定かつ水平に保ち、正しい回転で再生を行うための最重要部分。アルミやステンレスなどの金属が使われ、慣性モーメントによってブレにくく、さらに振動せずに回転するよう重さと固さが重要

06 アームリフター



トーンアームに取り付けられたカートリッジの針先を、確実にレコードに降ろすために設けられたレバー。オイルダンパー方式などが採用され、レコードや針先を傷めないよう、ゆっくりとした昇降動作が望まれる

05 アンチスケーティング調整つまみ



回転するレコードに針を降ろした際、トーンアームには時計方向の回転モーメントが加わり、針先をレコードの内側音溝の壁に押しつける力が働く。これを取り消すために、外側に引っ張る力を機械的に加える機構

04 カウンターウェイト



トーンアームにカートリッジを取り付けた際、カートリッジの重量バランスをとった上で加重(針圧)をかけていくための分銅のような部品。目盛りが刻んであり、カートリッジの適性針圧に合わせて設定する

オーディオ
ビジュアル評論家
小原由夫が
詳細解説

再生機器 基本構造

レコードの再生にはプレーヤーが必要になる。まずは大切なレコードを傷付けず、そしてレコード本来の音を堪能できるように、プレーヤーの基本構造をしっかりと理解することから始めたい。



PD-171A

53万4600円
@ラックスマン
TEL.045-470-6991

アルミを削り出した約5kgという重量級のターンテーブルに加え、カートリッジを簡単に交換できるユニバーサル型トーンアームを採用し、アナログレコードを再生する喜びを味わえる。高品位なデザインでありつつ、レコードプレーヤーに不可欠な機構もしっかりと装備した、ベーシックスタイルのモデル